

決算質疑あれこれ

ふるさと納税

問 昨年度は5億円を
超える寄付金と急増
したが、実質的に市民に
使える金額はいくらか。

答 過度な返礼品競争
がなくなったことか
ら急増しました。返礼品
や業務委託費、ポータル
サイト掲載手数料など約
3億円の経費を要し、残
り約2億円となります。



パルシェ賃借料

問 議会に何の報告も
ないまま、582万
円が未収となっているが
理由は。

答 指定管理者の(株)淡
路島パルシェの入込
客数減少により経営状態
が悪く年度協定を3月31
日に見直し、賃借料を変
更し、0円としたためで
す。

問 確かに協定書の変
更は、議会への報告
義務はない。多少の増減
と違い、「もらわないこと
にした」が、何度も機会
がありながらも意図的な
のか、報告がないまま勝
手に行われたことに驚き
を隠せない。信頼関係の
問題だ。

答 議会の議決事項は、
款項のみです。全て
増減がある度に、補正を
組むことはしていません。
誤解を生まないよう取り
組みます。

ジェンダー教育

問 制服について、男
性は学ラン、女性は
セーラー服という認識で
はなく、共通のスラック
スを用いる学校もある。
学校でのジェンダー平
等の教育状況は。

答 近年は、多様な性
の理解を深めるよう、
人権教育の一つとしてと
らえるようになってきて
います。性的少数者の講
師を招くなどジェンダー
平等の理解は少しずつ深
まってきていると認識し
ています。



出典：姫路市立山陽中学校HP

達者で長生き

問 健康増進、認知症・
引きこもり予防とし
て、「プール利用券」「温
泉利用券」を出している。
その目的に合ったような
形へと変えていく勇気が
必要ではないか。

答 要介護になる前に
何かできることはな
いか、という提案は重要
なことです。
現在、いきいき100
歳体操を各地域で実施し
ています。このことで、
積極的に外出するきつ々
けにもつながります
ので、さらに拡充に
努めます。



問 認知症になっても
地域で暮らすには、
地域包括がますます大事
であり、各地域内での拠
点整備が求められる。防
災など関係部局との連携
は進んだか。

答 認知症サポーター
講座も拡充しつつ、
地域包括や拠点づくりは
重要なことと認識してい
ます。国の改正もあり、
今後ケアプラン作成時に、
防災の点も触れることに
なりました。

ビジネスサポートセンター

問 相談実績合計11
3件に対する市の評
価は。

答 具体的な目標数値
を定めていないのが
現状です。相談の内容に
ついては、起業や資金繰
り、場所、支援メニュ
ーのことや、最近ではコロ
ナ感染症対策の相談が増
えています。

問 国・県制度資金導入
にどれだけつながっ
ているのか。

答 商工会から、全て
支援を受けていると
聞いています。ただし、
国・県の制度資金が活用で
きているのは不明です。



新規起業支援補助金

問 起業を図る事業者
支援内容は。

答 京都・近畿地区か
らの移住者で、新規
申し込みが19件となっ
ています。飲食業・美容関
係が多く、事業者は30歳
代が中心で、開業エリア
は、津名・東浦が多い状
況です。

開業時に、多額の資金
を要することから、初期
投資等に最大で100万
円を支援することで、新
規開業に結び付けるのが
目的です。

地域おこし協力隊

問 募集要項には「淡
路市内全域で地域協
力活動に従事する」とあ
るが、隊員の他市での活
動がマスコミ報道される
と市民感情的に違和感が
あるとの声も聞く。活動
内容の幅が広過ぎるので
はという課題も含め、改
善を訴えてきたが、何も
変わっていないのでは。

答 隊員のミッション
やテーマは個々に違
いますが、地域協力活動
は共通の項目としていま
す。
そのような指摘は真摯
に受け止め、肩書きは名
乗らない等の改善に向け
検討します。隊員には、
最長3年の任期満了まで
に、生活手段を得てもら
い、定住化を目指します。

自主防災拠点整備

問 防災拠点整備を進
めることは良いこと
だが、町内会の規模に違
いがあるため、同額の助
成金に問題がある。南あ
わじ市福良地区のような
ブロック別の避難計画と
なりづらくなるのでは。

答 助成金は来年度見
直しとなっています。
この事業は、町内会だ
けが対象ではなく、自主
防災組織として形成され
た団体に助成しています。
提案の構成世帯数に応
じた助成額への変更は考
えていません。



イノシシ被害防止事業

問 有害鳥獣による農
業被害の防止策や捕
獲対策の取り組みは。

答 捕獲檻の設置と管
理等の業務を引き続
き猟友会に委託していま
す。猟友会員の高齢化も
あり、今後、40基の檻管
理をICTの活用で、有
害鳥獣の個体数、農業被
害の減少に取り組んでい
きます。

問 捕獲数は年々増加
しているが、実際の
生息数はどうなのか。以
前、県が調査するという
ことだったと思うが。

答 カメラを設置する
など調査はされてい
ますが、把握が難しい状
況です。実際の生息数が
分かなければ、目標値
が立てられないのが課題
です。

空き家対策

問 空き家対策総合相
談窓口を設置してい
るが、件数や内容はど
うだったか。また、利活用
の状況はどうか。

答 67件の相談があり
ました。隣家の雑草
問題などの問い合わせが
多い状況です。解体につ
いては4件で、うち2件
が審査を通過し、補助対
象となりました。また、
利活用については、所有
者に、空き家バンクの案
内パンフレットを送付す
るなど行っています。



※写真はイメージです。